

Wat00020 h

#0000 sci1149 8808170016

## 難解な文章と編集者の意識について

貴紙8月8日(月)夕刊第3面掲載の「しごとの周辺」という囲み記事は、ある天文関係の専門家による「宇宙の周辺」という文章でした。

天文にも興味を持っていますので期待して読んだのですが、前半はともかく、後半は何度読み返してもチンプンカンプンで、何を言っているのか全く理解できません。

前半は、宇宙は昔「火の玉」から始まり、そこから膨張して今日の姿になったことが知られた、ということが述べられています。

そこで問題の後半を再掲させていただきます。

----- (下段5行目以降) -----

現在からたどって今やっと火の玉まで来たのです。

厄介なことは、現在のすべての原因がこの火の玉なのです。宇宙はその前をすべて忘れていたらしいのです。

第一例の「宇宙の景色」は火の玉から十万年、第二の原子は三分後の記憶を我々にみせてくれているのです。

さらにもっと昔、火の玉の始まりからゼロコンマゼロが何十もついた秒のあたりまで研究が進んでいます。

そのころの記憶は物の法則が持っているのだそうです。

火の玉の以前の記憶はまだ発見されていません。

「宇宙の周辺」、困りましたね。

-----

全体にほとんど解らないのですが、とりわけ次の点は理解できません。

現在のすべての原因・・・すべてとはあまりにも漠然としていませんか。

第一例の・・・これより前のどこに第一例が述べられていますか。

第二の原子・・・どこに第二例が述べられていますか。

あるいは「第二の原子」とは何ですか。

物の法則・・・どのような法則ですか。

このように、上の文章には、読む人に解ってもらおうという親切さが全く感じ

られないと思います。

また、前半には「遠方の天体」と書けばよいところを「遠方のやつ」と表現しているところもあります。やつという方が読者に分かり易いと考えたのでしょうか。そうだとすればとんでもない考え違いと言わざるを得ませんし、何と云っても品格がありません。

「宇宙の周辺」、困りましたね。・・・という言葉は、筆者よりも私たち読者の方が言いたい言葉です。

ところで、Free Talk 39「#30を読んでの匿名記者のためいき」の中で、A記者が「自分のやっていること以外はまるで世間知らずの専門家が多いからね。」と言っておられるのには、まったく同感です。

上の文章を書いた専門家も、独りよがり、読者に伝えようという努力と親切が感じられない点から推測すると、そのような部類の人なのでしょう。

しかしながら私は、このような部類の専門家がいるのだということを知りながら、その専門家のこういう難解で意味不明の文章を掲載する編集者の方が、責任が重いと考えます。

そこで私は次の3点をお尋ねしたいと思います。

1. 編集者はこの文章が理解できたのですか。
2. どういう読者を想定して掲載しているのですか。
3. 理解できない読者が多くても構わないと考えておられますか。

IDを戴いて初めての書き込みが、苦情めいたものになることは、私自身としても愉快なことではありませんが、朝日新聞の永年の読者としてさらに良い新聞を目指していただきたく、UP-LOAD致しました。

s c i 1 1 4 9      R o c k

#0001 host 8808180009

s c i 1 1 4 9 R o c k さんへ

おたずねの件、担当した部署の編集者に d o w n l o a d して照会中です。ご満足

いけるお答えができるかどうか、分かりませんが、しばらくお待ち下さい。

b y T . S a k a m o t o

.